

国語科 話すこと・聞くこと	米子市立美保中学校区 小中一貫教育 カリキュラム概要	美保中学校区 学力向上部会
-------------------------	---	--------------------------

教科の特性

国語科では、国語による表現力と理解力を育成するとともに、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力を高めることを目標としている。

特に、「話すこと・聞くこと」の領域において、相手や目的、状況に応じてわかりやすく話したり、話の内容を的確に聞き取って、自分の考えに生かしたりすることを目標とし、小学校低学年から系統的な学習をすることで、基礎的・基本的な力を確実に身に付けられるようにしている。

美保中学校区 目指す子ども像

かかわり合い 支え合い 高め合う 子どもの育成

美保中学校区 研究テーマ

「伸ばす学力 育む心」

～小集団を活用した学び合いの中で、生徒同士をつなぎ、この力を育てる授業づくりの研究～

美保中学校区の子どもたちにつけたい国語の力

- ・文章から必要な情報を的確に読み取り、自分の考えに生かす力
- ・自分の考えを相手に的確に伝え、相手の考えを正しく聞き取る力
- ・目的や意図に応じて書き方を工夫し、自分の考えを効果的に書き表す力

その為には、

「協同学習」を核として、相手の意見や考えを尊重しながら、自分の意見や考えを的確に伝えることを大事にする学習課題の設定を工夫したい。

指導の中でともに意識し、大切にしたいこと		第3期 他者の考えにふれ、自ら考えを深めたり、適切な表現力の習得をさらに充実させる時期
第1期 言語感覚を養い、日常的な表現力を身につける時期	第2期 目的や意図に応じた表現力を身につける時期	○広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を深めることができる。
○相手や目的に応じて理由や事例を挙げながら、筋道を立てて話すことができる。 ○話の中心に気をつけて聞き、質問したり、感想を述べたりすることができる。	○場面や目的に応じて、話の構成を工夫しながら、事柄が明確に伝わるように話すことができる。 ○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えと比べたり、深めたりすることができる。 ○小集団の中で、自分の意見や考えを伝えたり、人の考えを聞くことができる。	○協同的な学びの中で、異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、的確に話すことができる。 ○集めた情報を効果的に活用し、的確に自己表現しようとするすることができる。
小1 小2 小3	小4 小5 小6 中1	中2 中3
すべての学年で大切にしたいこと 自学を中心とした学習習慣の定着 協同学習の視点に立ち授業の中でかかわり合い 支え合い 高め合う場面を仕組む		

小学校 国語(東京書籍)

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・はきはきあいさつ ・よろしくね ・ともだちにはなそう ・きいてつたえよう ・はなしたいなききたいな 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面に応じたあいさつの言葉を言う。 ○名前カードを交換して自己紹介をする。 ○見つけたものを、みんなの前で丁寧な言葉で話す。 ○先生から聞いたことを友達に連絡する。メモを書く。 ○夏休みの思い出をみんなの前で話す。聞き手は質問や感想を述べる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばで絵をつたえよう ・たからものをしょうかいしよう ・まよい犬をさがそう 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形で構成されている簡単な絵について、書き方を順序よく説明する。 ○宝物について、友達に伝わるように事柄を選んで話す。 ○友達の話を興味をもって聞く。 ○探す犬の特徴について、大事なことを落とさないようにメモを取って聞く。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・話したいな、うれしかったこと ・インタビューをしてメモを取ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○うれしかった出来事について、聞き手に伝わるように事柄を選び、筋道を立てて話す。話し手が伝えたいことは何かを考えながら聞く。 ○話のまとまりに気をつけて聞き、大事なことをまとまりごとに整理してメモを取る。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・案内係になろう ・メモの取り方をくふうして聞こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の質問から知りたいことを考え、図や資料から必要な情報を取り出して、わかりやすく話す。 ○話の組み立てや事柄のつながりを考えながら聞き、工夫してメモを取る。内容を正しく理解するために質問する。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・六年生におくる字をすいせんしよう ・意見と理由を聞き取ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業する六年生に送りたい漢字を推薦し、聞き手が納得するように、構成を工夫して話す。推薦されたもののよさが伝わるか考えながら聞く。 ○複数の発言について、共通点と相違点に留意して意見と理由を聞き取り、共通点に着目して整理する。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いにありがとう ・意見と理由のつながりを聞き取ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校生活で心に残った出会いとそれを通して学んだことについて、意図が伝わるように、話の構成や話し方を工夫して話す。話し手の意図をとらえて、自分の経験や考えと比べながら聞く。 ○適切な理由を挙げて意見を述べているかを考えながら複数の発言を聞き取る。



中学校 国語(光村図書)

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなものを紹介しよう ・話題や方向を捉えて話し合おう ・一年間の学びを振り返ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなものをスピーチを通して紹介する。 ○グループ・ディスカッションをする。 ○一年間で学んだことをポスターにまとめ、ポスターセッションを行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な提案をしよう ・話し合って考えを広げよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手に効果的に提案を伝えるために、プレゼンテーションを工夫する。 ○パネルディスカッションを通して、お互いの考えを深めたり広げたりする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会との関わりを伝えよう ・話し合って提案をまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じたスピーチをする。 ○課題解決に向けて会議を開き、討論を通し方向性を定める。

算 数 数学科	米子市立美保中学校区 小 中 一 貫 教 育 カ リ キ ュ ラ ム 概 要	美保中学校区 学力向上部会
--------------------	---	--------------------------

教科の特性

算数では、A数と計算B量と測定C図形D数量関係の4領域を、数学では、A数と式B図形C関数D資料の活用の4領域を、既習事項を活かしながら系統的・発展的に学習する。

この学習を通して、

- ①算数・数学的な事象に関心をもつと共に、算数・数学的な活動の楽しさやよさを実感し、算数・数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。
- ②事象を算数・数学的にとらえて、論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、算数・数学的な見方や考え方を身につける。
- ③数量や図形などについて、算数・数学的に表現したり処理したりする技能を身につける。
- ④数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につける。

美保中学校区 目指す子ども像
かかわり合い 支え合い 高め合う 子どもの育成
美保中学校区 研究テーマ

「伸ばす学力 育む心」

～小集団を活用した学び合いの中で、生徒同士をつなぎ、この力を育てる授業づくりの研究～

美保中学校区の子どもたちにつけたい算数・数学の力

基礎・基本を確実に身につけ、算数・数学を創造的・発展的に学び活用できる児童・生徒

- ・既習事項を活かし、新しい解決方法を見出したり、系統性を意識できる力
- ・学習したことを、生活場面や次の学習に進んで活用する力
- ・解決したことから、別の様々な解法や発展的な問題を考え出す力

その為には、

「協同学習」を核として、話し合いの場面を学習の中で取り入れることやペアや班で意見を討議したり共有したり、教え合いしたりできる学習材を取り入れることを大事にしたい。

指導の中でのともに意識し、 大切にしたいこと		第3期 基礎・基本を応用して個性や学力を伸ばす時期
第1期 算数との出会いを大事にし、基礎・基本を繰り返し習熟を図る時期	第2期 中1ギャップ解消を意識しながら、基礎・基本を生かして思考力・判断力・表現力をつける時期	<p>○数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深める。</p> <p>○学んだことを活用して諸々の課題を解決する力（思考力、判断力、表現力）を高める。</p> <p>○数学的な見方や考え方や数理的な処理のよさを感じ取る。</p>
<p>○具体物を用いた活動を通して数に関する感覚、量の大きさ、図形についての感覚を豊かにする。</p> <p>○算数との出会いを大切にすることでなく、「わかる授業」「できる授業」の構築を図る。</p>	<p>○数、量、図形などについて基礎的な概念を漸次理解し、基礎的な計算ができるようになる。</p> <p>○見通しをもったり筋道をたてて考えたりする数学的な考え方を育てる。</p> <p>○小・中の学習内容の系統性を意識し学習を進める。特に、数と式（有理数の確実な計算）平面図形（平面図形の移動）一次方程式（比と方程式）資料の活用（度数分布、平均）について系統性を意識する。</p>	
小1 小2 小3	小4 小5 小6 中1	中2 中3
<p>すべての学年で大切にしたいこと 自学を中心とした学習習慣の定着 協同学習の視点に立ち授業の中でかかわり合い 支え合い 高め合う場面を仕組む</p>		

小学校 算数

C 図形

【1年】

●平面図形、立体図形の観察や構成

【2年】

●三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形

●箱の形

【3年】

●円、球
●正三角形、二等辺三角形
●角

【4年】

●垂直と平行
●台形、平行四辺形、ひし形

●直方体、立方体

【5年】

●多角形、正三角形
●三角形、四角形の合同
●円周率

●角柱、円柱、見取図、展開図

【6年】

●線対称、点対称
●拡大、縮小

B 量と測定

●概形の面積
●円の面積
●角柱・円柱の体積

中学校 数学

B 図形

小中一貫を意識した共通課題となり得る単元

平面図形

空間図形

【1年】

●基本的な作図の方法とその活用
●図形の移動（平行、対称、回転移動）

●直線や平面の位置関係
●空間図形の構成と平面上の表現（見取図、展開図、投影図）
●扇形の弧の長さや面積、柱体や錐体及び球の面積・体積

【2年】 平面図形と平行線の性質

図形の合同

●平行線と角の性質
●多角形の角の性質

●平面図形の合同と三角形の合同条件
●証明の必要性和意味及びその方法
●三角形や平行四辺形の基本的な性質

【3年】 図形の相似

円周角と中心角

三平方の定理

●平面図形の相似と三角形の相似条件
●図形の基本的な性質
●平行線と線分の比
●相似な図形の相似比と面積比、体積比
●相似な図形の性質を活用すること

●円周角と中心角の関係（証明、活用）
●円周角の定理の逆

●三平方の定理とその証明
●三平方の定理を活用すること